

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すぎな愛育園		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～ 2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 3名	(回答者数) 3 7名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 4名	(回答者数) 2 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 年三回の個別面談、おたより帳、電話、交換ノート、メールなど、様々な手段で日々の様子を共有している 怪我や変わった様子があった時には、保護者へ速やかに連絡を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者にとって連絡が取りやすい方法や時間帯を考えながら、密な情報共有を行い、子どもたちが安心して通えるような支援を行っていく
2	適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めのアセスメント、年3回のモニタリングを元に個別支援計画を作成し、計画に沿って支援を行っている 担任だけでなく、全職員で全園児の支援を行うための情報共有をしている 遊びが固定化されないよう、一ヶ月ごとに遊びの月間予定を組み、遊び内容をその都度検討している 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、全職員間で情報共有をしながら、全園児の支援を行っていく 子どもたちの様子に合わせた遊び内容を検討し、より遊びが充実していくよう展開していく
3	満足度向上のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方がいつでも園見学に来ることができる体制を整えている 保護者とのやりとりでは、電話、おたより帳、交換ノート、メールなど、様々な手段で行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も子どもたちも家族も安心して通えるように、ご家庭と密な情報交換を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> 建物の老朽化している箇所がある 建物が古く、バリアフリー化されていない箇所がある 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が老朽化しているため、丁寧な環境整備と修繕を適宜行っていく 限られたスペース中でも遊びが充実するよう、遊びを展開していく
2	個別支援の内容、関わりの共有	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容に変更があったり、様子が変わった際には、クラス内で共有を行っている。業務内容によっては、毎日の振り返りを行うことが難しい日もある 現在、おたより帳の日々の様子の欄には、その日の遊び内容について記載することが多く、支援内容については主に個別面談で話をすることが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 現在行っている日々の記録も用いながら、職員間でも情報共有を引き続き行っていく 個別支援の内容についても、日々の様子に記載する機会を取り、より保護者と様子の共有を行っていく
3	職員配置	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの様子やクラスの状況が日々変わる中で、年度当初のクラス配置を行う時点で予測が難しい部分もある 	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況や様子に合わせて、クラス間でのフォローをしながら支援を行っていく クラスの状況によっては、年度途中で職員の配置を検討する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	すぎな保育園
------	--------

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 2025年 2月 18日 43人

回収数 37人

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	4			・室内でも走るスペースが十分にある ・園庭にみんな出ると少し狭く感じる	・限られたスペース中でも遊びが充実 するよう、遊びを展開していきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	3	1	1	・職員が目が行き届いている ・もう少し職員を増やしてほしい ・一人一人に寄り添った支援を職員間で共 有できているのか疑問	・お子さんの関わりについて、引き続 き、研修や情報共有を行ってまいります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1	1	1	・各部屋にげた箱や水道があるからわ かりやすい ・絵や写真カードが小さい	・写真カードや絵カードは、場面に合 わせて子どもたちにとってわかりやす い大きさの物を使用していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	4		1	・各部屋に水道があり、清潔 ・廊下が少し暗いと感じる時がある	
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	33	3	1		・入園前は慣れるまでに時間がかかる かと不安だったが、職員の理解が深く すぐに馴染めた ・発達支援になっているのか、伸びている のか疑問	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	33	2		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	34	1			・個別面談、クラス懇談会など話す機 会がある ・子の普段の様子や家庭からの希望を十分 に考慮している	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	1	1	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36			1	・支援計画書に沿って、できる事が 増えた ・細やかに対応している ・毎日の連絡表だと、「楽しかった」「泣 いていた」だけで、支援計画書に対しては どうかわからない	・日々の遊び内容だけでなく、支援内 容についても日々の様子としてお知ら せする機会を増やしていきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	35	2			・いろいろな種類のプログラムを計画して いる ・大枠の活動が違うことは分かるが、その うえで何をしてるのか分からない	・遊び内容は、クラスだよりで遊びの紹 介をします
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	35	2			・定期的に行われている ・交流の機会が去年より増えた ・コロナの影響が抜けてきたためか、今年 は機会を多く設けてあった	
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	35	1		1	・個別面談で説明を受けたり、話した りしている	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37				・個別面談で説明を受けたり、話した りしている ・年三回の個別支援面談で計画書に沿って 丁寧に説明されている	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	31	5		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	34	3			・毎日連絡帳を通して子の様子を伝えて くださっている	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1			・面談だけでなく、日々の連絡帳や来 園した際に話を聞くことができている	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1		1	・子どもが問題行動をした際、両方の 立場に配慮した対応がされている ・質問の意図が分からない ・職員が話しやすい ・「何かあったらいつでも連絡ください」 と言ってもらえる姿勢がありがたい	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会があり、通っている子どもだけでなく兄弟にとっても良い思い出になった。家族で参加できてよかった ・保護者同士の交流は割と多く設けていると感じるが、きょうだい向けのイベントはなかなかない ・きょうだい児への支援は無いように思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容、行事、催し物によっては、兄弟の参加を受け入れる機会もあります
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあったらすぐに電話連絡をしてくれる 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	7	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36				<ul style="list-style-type: none"> ・書類に署名し、しっかり留意されている 	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練されている 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明されている ・怪我や変わったことがあった時は、小さなことでも速やかに連絡してくれている ・トラブルがあった際、詳細を伝えてくれたり、怪我の原因がわからない時にも調べ確認してくれている ・何かあれば、電話や連絡表で教えてもらえる 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	1			<ul style="list-style-type: none"> ・職員や友だちと過ごすこと、遊ぶことを楽しみに安心して通っている ・職員たちのことも大好きで、子どもを好きという気持ちも伝わり、安心する ・母参加などで園見学に行くと、とても良い笑顔で過ごす様子が見られる 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しく通っている ・いつも笑顔で通っている ・毎日嬉しそうに通っている 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	35		1		<ul style="list-style-type: none"> ・通所することに安心と楽しみを伴っていたので、成長できたと思い感謝している ・愛情深く接していただき、感謝している ・大変満足している ・話しやすくて子どもの成長を温かい目でみてくれている ・親子共々、安心して通える ・いつもありがたく思っている 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すぎな愛育園		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	7	・体調不良などで職員が休む時にも、他部署から応援体制が組まれている	・1対3の支援の方がより支援が行き届くと思う ・子どもの特性に合わせた職員配置希望 ・子どもの様子によっては、全員に適切な関わりができていないと感じる ・様々な理由により、マンツーマン対応が必要な子が複数名いる場合、十分に満足いく支援ができていない	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22	2	・段差がなく、玄関にスロープもある	・バリアフリートイレがないなど、バリアフリー化されていない場所もある ・死角になる場所、全体的に老朽化が気になる ・老朽化した設備もあり、トイレや水回りなど常に清潔を保てていないこともある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	2			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	24				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	24		・日々の記録で振り返りができている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	1		・全職員に対する周知はされていないように感じる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24		・出た意見を検討してもらえている ・休憩が取りやすくなった		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	24		・定期的に行われている		
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24		・月に何回、年に何回ときっちり計画されて研修を開催している			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24		・クラスでの話が元に作成されている定期的作成されている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	24		・クラスでの話が元に作成されている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24		・物品が豊富なため、固定しないように工夫しやすい ・多岐にわたる様々な活動が行われている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24			・ほとんどしているが、時間の関係でできていないこともある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	4	・毎日ではないが、クラスミーティングや話し合える場が設けられている	・個々での振り返りはできているが、共有はあまりできていない ・業務上、残っている人数によってできていないこともある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	2		・徹底されていない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24		・必要がある場合、様々な機関と連携する体制が取られている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	6	・支援内容の共有はないが、子ども同士の交流はある ・インクルージョンについて考える機会があった	・併用利用は特になし ・今後併用利用するようであれば、子どもの不利益にならないように積極的に情報共有ができると良い
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	6		・連携部会などでの話が他職員にも共有されると、より全体で連携への意識向上に繋がる
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17	2	・すぎな愛育園セミナーは外部の方からの話を聞くことができて勉強になった	・外からの専門機関や専門家から助言を受ける機会を設けることも質向上の方法の一つだと思う
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	1		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	23		・必要があれば、よく電話や個別相談が行われている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	4			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	4		・コロナ禍が明けて、懇談会が定期的に行われている ・年三回のクラス懇談会に加え、分園も交えた全クラスが対象になる懇談会も行っている
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	23	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	23	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22	2		・夕涼みは、地域の方も多く来園していた
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	1		
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	24			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24			・医師の指示書に従って、食事を提供している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24			